

のうきょう ちがしづ

'91 1

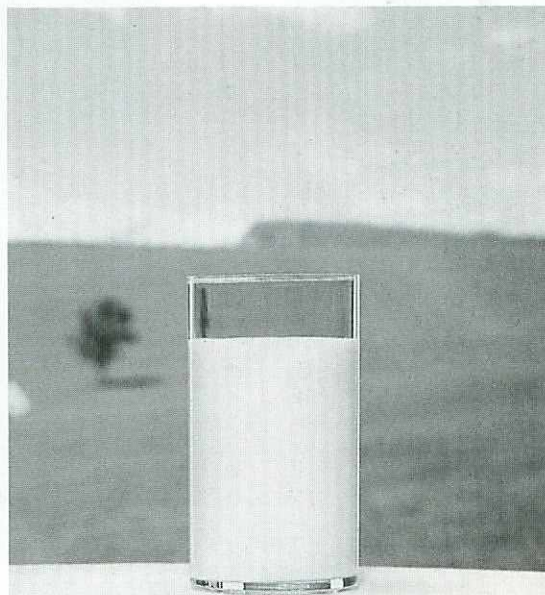
No.193



年頭のごあいさつ	4
コミュニティコラム みんな・なかま	8
わが家の人気者 明るく元氣一杯に	10
全国共進会開かる	11
旅を夢みて はばたけ世界が見える／黒潮おどる南紀・伊勢味めぐり	12
酪農ヘルパー 円滑化事業始動	14
理事会の経過／年始の業務日程	15
今月のフォトアルバム	16

ミルクの白は、あふれる自然の証です。たくさんの栄養や成分が小さな粒々となってとけ込んでいて、その粒々が光を反射して白くみえるのです。

ミルクの白は、安心と健康の印です。



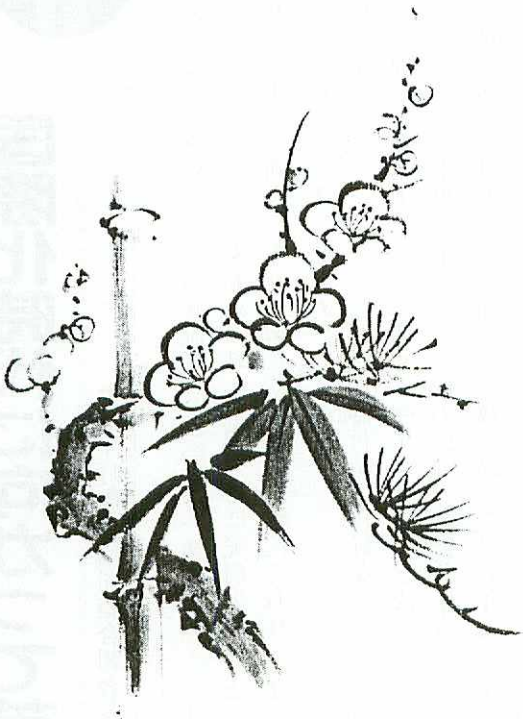
おいしさの中にこころからだのためになる要素がたっぷり。ヘルシーな暮らしは、まずミルクから。ミルクの白は、夢を映すスクリーンです。北海道の大きな自然が語りかけてきます。フロンティアの情熱と夢がじんわり伝わってきます。

謹んで新春を

お慶び申し上げます

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしませ
なにお本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます

平成三十年元旦



中標津町農業協同組合



理事 後方左より 鈴木 祥幹、久我 良夫、齊藤 哲雄、太田 功、中浦 健雄、上村 重光、渡辺 善行	理事 前方左より 代表監事 白田 慶和、	理事 宮農委員長 理 事 鷺見 孝、	理事 副組合長 理 事 山本 雪信、	理事 組合長 理 事 見玉 光彦、	監事 管理購買 委員長 理 事 佐々木政行、	監事 太田 直行 酪農委員長 理 事 竹下 日吉
---	-------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	------------------------------------	--------------------------------------



国際化時代に向かつて英知を結集

中標津町農業協同組合組合長理事 児 玉 光 彦

明けましておめでとうございませす。

平成三年（一九九一年）の新春を、ご家族お揃いでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

一九九〇年は、ソ連のペレストロイカ、東西ドイツの統一、中東湾岸問題等々世界的に大きくゆれ動いた年でありました。

農業環境にあっても、自由化、市場開放が一段と高まり、ガット、ウルグアイ・ラウンドは、農業分野での対立で合意にならなかったが、農業保護批判は強まる中で新年を迎えました。

さて、当地域は春先も天候に恵まれ、作物の成育も良く、大豊作を望んでおりましたが、収穫間近より雨が多く、ご苦労の多い年でありました。

酪農は、前年実績二・五％伸びの生産抑制でスタートしましたが、飲用乳の消費の伸びが続き、供給不

足の状況で、乳価の下げ、初生トクを始め、乳牛、肉牛、特に廃用牛値下りは著しく、厳しい状況でありました。

馬鈴薯は、蒔付時は良好なスタートを切り、今年は大豊作と思いましたが、秋の長雨の影響で生育が止まり、収穫の減となり昨年も厳しい年でした。

ビートは、根中糖分が心配されましたが、量・質共にまずまずでした。

組合員皆様のご苦労に対し、心より敬意を表します。

今年は今明け、ガット、ウルグアイ・ラウンドが再開されますが、**「農畜産物」自由化、市場開放は阻止せねばと考えます。**

農業保護批判も、一段と強まると思われます。

酪農は、個体価格低迷の長期化が心配されます。早期回復を願い努力致さねばと考えます。

牛乳生産は前年実績三％の伸びとなり、牛肉については自由化の年であり、どの様な動きとなるか心配です。

畑作は厳しい状況下にあります。多収穫に向って努力を願いますと共に、販売に向って一層の努力を考えます。

九一年は、ガット、ウルグアイ・ラウンドの状況によっては、大きく国際化時代に向って前進が考えられます。

農協も金融の自由化等の状況下にあつて、多くの課題があります。役員一丸となつて英知を結集し、その解決に向って努力してまいります。

今年もご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

最後に、平成三年が組合員ご家族にとつて最良の年であります様心よりお祈り致しまして、ご挨拶と致します。





年頭の「あつち」

北海道農業協同組合中央会会長 床 鍋 繁 則

謹んで新年のおよろこびを申し上げます。

本年が皆様にとって、明るい良
い年でありますよう心から祈念す
るしだいです。

昨年の本道農業は、一部地域で
天候不順による被害はみられまし
たが、総体的には豊稔の年となり
ました。これも組合員の皆様のご
努力によるものと、ご同慶にたえ
ません。

いま北海道は、日本一の農業生
産をあげるほどに飛躍をとげまし
た。これも先人をはじめとするか
たがたの、それぞれの時代に積み
重ねてこられた英知と努力のため
ものと、深く敬意を表するしだい
であります。

しかしいま、日本そして本道農
業は、アメリカをはじめ海外から
の市場開放圧力に揺れ動いていま
す。コメをはじめ雑豆、でん粉と
いずれも本道にとって基幹となる

作目であり農業を根底から破壊し
かねない事態を迎えているのであ
ります。

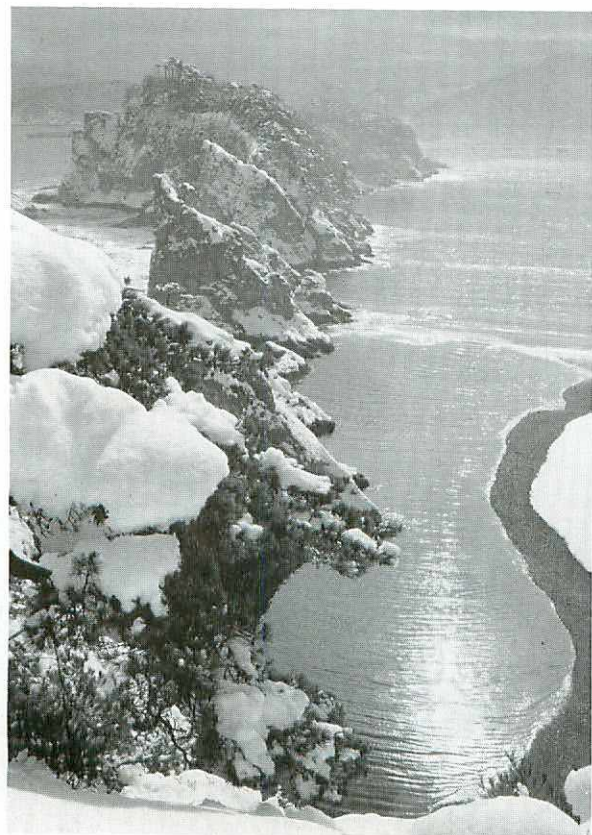
世界をみます時、ソ連政府は各
国に援助を求めると、食糧不足
という深刻な事態を迎えています
ほか、多くの国々が飢餓に直面し
ているのであります。

私は、食糧の自給、安定確保は
国の最優先課題と信じてやみませ
ん。国民各層の理解と賛同をえて、
市場開放阻止と主要食糧の完全自
給政策確立に、系統農協組織をあ
げて取り組む決意であります。

また、本道農業の持つ大規模、
高生産性を生かし、安全でおいし
くより良い農畜産物を安定的に国
民に供給し、名実ともにわが国の
食糧基地としての北海道農業確立
をめざしているところでありませ
ん。元年から本格的に栽培に取り組
みました「きらら397」は、価
格も手頃でおいしい、と消費者に

好評を受けました。昨年も高く評
価され、質量ともに需要に十分見
合う供給量を確保するなど、将来
に向けて努力を重ねているところ
であります。

そしてわれわれは、今後地域社
会とのつながりを更に強めますと
ともに、農業の持つ国土・環境保



全についての役割も十分に果たし
てゆかなければなりません。また、
農業には自然の持つ恵みがありま
す。国民の心のふるさとである農
村の良さを生かした、心の豊かさ
を大切にす活動も、積極的に展
開していきたいと存じます。

年頭に当たり、素晴らしい資源、
恵まれた条件を生かした豊かな北
海道創りに、系統農協の全力を傾
注したいと決意をあらたにするし
だいあります。



中標津町農業協同組合参事 五百木 忠 雄

新年のご挨拶

あけましておめでとうございませす。
平成三年の新春を、希望新たに迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、農畜産物市場開放問題で揺れ動いた年でありました。この影響を受け、保証乳価の引き下げ、生産抑制個体価格の値下り、畑

作では澱粉ビートの基準価格の引下げなど、厳しい年でありました。しかし牛乳の消費の伸びによって後半からは幸いに搾れる状況になり、また澱粉も例年の繰越在庫が

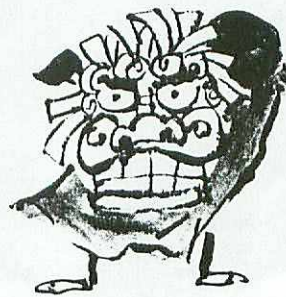
なくなりましただので、今年は酪農、畑作ともに思い切り生産が可能なき情勢にあり、生産者にとって先づは明るい新年を迎える事が出来た

ことと思います。

農協事業は、生乳の伸び悩み、個体価格の値下り、金融自由化などの影響が大きく、組合の経営収支は厳しい状況にありますが、しかし牛乳も搾れる情勢にありますし、低利な乳牛保留資金を創設しましたので、生産の増強にご活用いただきたいと思えます。

営農年度も新年度を迎えましたが「営農計画樹立に当たっての基本方針」を十分ご検討されて、最良の営農計画を樹立して下さい。寒さ厳しくなつてまいります。

組合員皆様のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



北根室地区農業改良普及所長 雨 野 和 夫

益々のご活躍とご多幸を

あけましておめでとうございませす。
ご家族お揃いでご健勝にて、新年を迎えられ心より、お慶び申し上げます。

さて、昨年は春先より好天に恵まれ、牧草を始め各作物の生育は初期より例年になく順調に経過をいたしました。

この結果、一番草の収穫は平年より一週間以上も早く始まり、収量においても平年に比べ二十%以上の増収となりました。

しかし、八月中旬以降、九月末にかけて雨天が続くといった気象条件下にあり、二番草の収穫は大中に遅れ品質の低下を余儀無くされたところがあります。

また、畑作物においても、初期の生育から八月迄は史上まれに見る状況にあり、大豊作を期待していたところでしたが、前述のように後半の雨天により生育は大巾に停滞いたしました。

しかし、農家の皆様の日頃のご努力と、前半の生育の蓄えによって平年作を上廻る作物となり、心よりお慶び申し上げます。

一方、生乳の生産については、七月から十月にかけて中だるみの期間がありました。その後持ち直しは当初の目標に達するもの

と思われませす。

しかし、四月より乳価が二・六%低下し、更に乳牛の個体販売価格が大巾に低下するなど、経済的な打撃は大きく大変な一年であったと思えます。また本年においてもこの状況は変わらないと思えますので、営農計画の樹立にあたっては、緻密な計画と実行で生産性の向上を図ると共に、コストの低減に努め、喜んで年末を迎えられるようにして戴きたいものです。皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。



若い力を結集し 長期展望に立つ

中標津町農業協同組合青年部部长 西崎敬造

明けましておめでとございます。年の初めというのは、これから始まる年に対して、期待と不安、志と、色々思いを新たにするとす。ところがここ数年、農産物の自由化、価格の値下げ、更に天候不順など、不安な材料ばかりが多く農業に対して希望の持てる材料が、年々少なくなつて来ています。

しかし、我々は厳しい、苦しいと言つて何もしないで黙っている訳にはいかないのです。

昨年の全道青年部大会のテーマは、「どうするオレタチの北海道農業」と言うもので、この「どうする」というのは、オレタチに今何が出来るか、何をしなければならぬのかと、自分への問いかけ

一緒に明るく未来を

中標津町農業協同組合婦人部部长 笠原嬉代美

新年おめでとございます。

日頃より婦人部に対する皆様のご支援を心より御礼申し上げます。

思えば、自信は無く不安の内に引受けた部長の役も、間も無く一年を迎えようとしています。此の間、婦人部と言えども意外に会議や行事の多い事を感じました。その都度、部員の皆様のご協力を頂き、また副部長さん始め役員の方

方や事務局のご指導に依り、今日に至りました。胸をなでおろすと同時に、感謝の気持ちを新たにしています。昨年は天候に恵まれず、

牧草の収穫も天候の合い間を見ての作業で、食事を取る暇も無く頑張つたと隣近所の話でした。

主婦は、家族の健康管理が大変だった事と思います。健康管理と言えば、昨年の農協婦人部行事の

なのです。自由化という大きな波を乗り切るには、農業の重要性和、我々の生産する農畜産物の安全性を、強く消費者に訴え、理解を求めて行く必要があると考えます。

こうした状況の中で、地域の役員として、また、農業者としての役割は大変重要となり、今まで以上のPR活動が必要になると思います。ただ、販売を展開するだけではなく、昨年のビーフフェアのように、地域のまつりに積極的に参加し、農業の存在意義を消費者に直接訴えなければなりません。

中で、リーダー研修会、全道農協婦人部大会、地区農協婦人研修会それぞれに健康をテーマにした大会でした。全道大会では「健康で楽しく豊かな農村生活をめざしましょう」地区研修会では「健康についてもう一度考えてみましょう」というテーマでした。この研修会では、ケーシー高峰氏を講師に招き、笑い通しの一時間半でした。

「大いに笑いなさい」笑顔が一番だ「笑うとシワがふえると云うのはウソダツテ」と、おもしろく話してくれました。

今、農業を取り巻く情勢は、世

このことは、農業者として、また、農協全体として考えていきたいものです。

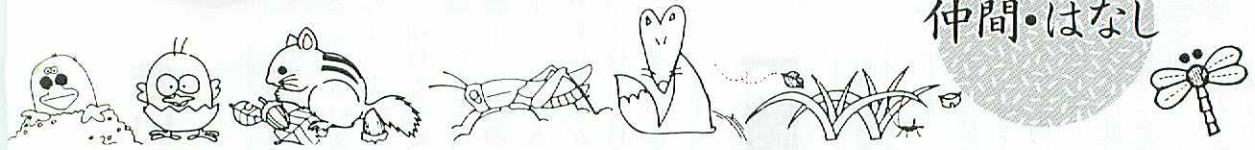
今までマスコミなどの影響で、とかく暗いイメージの多かった農業を、地域住民と共に農業を基礎とした、豊かな、明るい地域になるようみんなで努力して行かなければなりません。

農業情勢は、予断を許しません。我々青年部は、プロの農業者としての自覚を持ち、若い力を結集して長期展望に立ち、事業を展開して行きたいと考えております。

界的に大変の様ですが、特に資源の乏しい日本の農業は、餌、肥料を始めとする営農資材の大半を輸入に頼っている訳ですから、事態は深刻で、好むと好まざるに拘わらず、世界の波にさらされると思いますが、こういう時こそ女性の信念と笑顔で、地域のムードを和らげ、家族の健康を守る事が、より一層大切ではないかと思えます。これからは、世界の荒波に身近な所から対処し、婦人組織を通じて、皆様と一緒に明るく未来を創りたいと思えます。

なかま

仲間・はなし



新年を迎え、今年の支、未(ひつじ)年生れの方二人に原稿をいただきましたのでご紹介いたします。

イギリス、西ドイツ 農村見て歩く記 自分の家は自然の二つ

横田純子

この度思いがけず、町人材育成事業の一環で、イギリス、西ドイツへの旅が出来た事は、人生またとないチャンスで、喜びと責任と不安の心境で出かけました。

まず驚いたのは英国で、民泊した農家の歴史の古さと、住んでいる人々の心の豊かさです。建築してから八百年も過ぎ、なお居住し、当時の家具をそのまま使い、ペンキの厚みがあるきれいな壁、整然と合理的また、質素に使いこなしたドライフラワーやポプリなど、どの部屋にもやさしさをにじませ、休暇に来た人達の心をなごませる気くばりが行き届いている事に感心しました。



民泊したローズマリーさんの家
この農家は16世紀の建築で、国の登録建築に指定されている

また、一日バスで走っても、道路のわきの牧柵が同じ高さ、同じ間隔、同じ材料の木で何百キロも続き、畑の境は全て生垣で仕切り、畑の中の木は、樹令千年以上も過ぎていた太い木ばかり。私たちの土地というと、仕事に都合の良い様に畑は真っ直に、木は切り、起伏は平らに直し、まるで開発という名の自然破壊です。

西ドイツの農村地帯の景観は美しく、なだらかな丘陵地に点在す

る豊富な緑の森、並木、ゆるやかな流れの川、曲線美の道路、集落から集落への連続的な風景の移り変わりは、一日バスに揺られても見飽きる事ありません。

バイエルン地方の農家には、州政府から草を刈る期日より補助金が出ているという事で、農地環境保護の政策が徹底されていることを聞き、驚きました。六月十五日前は、どの家も草を刈ってはいけない(場所によっては、七月一日)刈る前は、化学肥料はだめ(草が倒れるから)何故かという、種を落とし、植生更新をさせてからという事でした。ちなみに六月十五日より刈ったら四百万マルク、七月一日からは、五百万マルク、全然刈らなければ六百五十万マルクの補助金だそうです。(一マルク、百円位)北海道の酪農地帯では、考えられない政策の一つです。

花嫁問題は、どこでも同じで、大きな課題の一つだそうです。

村、地域、州、国をあげての景観保全や、環境保全は、農民は食

みんな、

仲間・はなし



糧生産者という事ばかりでなく、国土保全管理者として、都市の人達にもしつかり位置づけている、また農家の人も、「自分の家は自然の一つ」として花をかざり、家も近代的なもの（トタン屋根や大きな窓ガラス）使わない、堀も金属製は使わず、木の堀や生垣にし、祖先の生活道具をそのまま使い、それを誇りにしている姿には感心しました。

個人では訪れる事の出来ないヨーロッパの農村を見て回り、ファームステイが出来た事は、私の人生でとても貴重な体験です。

各関係機関にお礼を申し上げて筆を置きます。

経営の足元を 確立させて！

吉田 正 行

今年で三度目の羊年を迎えるに当り、経営を移譲されてから、七年目、少しは経営者らしくなって

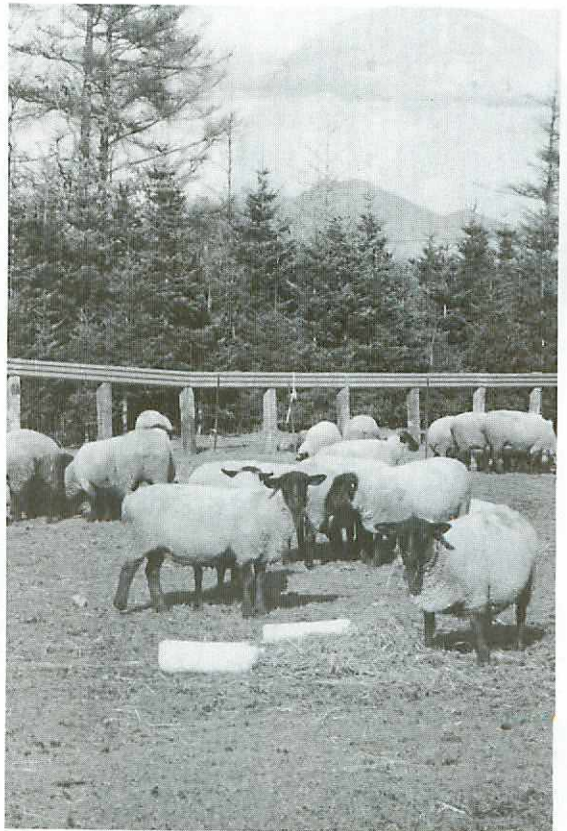
きたかなと思われる今日この頃です。

今の酪農情勢も厳しいものとなり、自分の経営の足元を確立させて行かなくては、と思っています。今年はフリーストール牛舎を建てるため、これからの形式の変わる牛の飼いや搾乳、建物やパールの機能などの話が多くなり、色々な情報を収集している訳です。不安も多少ありますが、これは自分の経営の大事業として、やって行かなければならないと思います。

また、それが楽しみでもあり、仕事にも意欲がわいて来ます。

酪農も、楽しみや、目標がなければ、仕事もつまらないと、私は思います。毎日がいい事ばかりではありませんが、今は牛舎の事で占められているのが現実です。

今年の目標としては、やはり乳量、乳質の維持、良い粗飼料作りといったところです。言うのは簡単ですが、どれも難しい事ですが、頑張って行きたいと思っています。



わが家の人気者!

明るく
元氣一杯大きく
なあれ

協和地区
林 勝利・晴美さんご夫妻
長女 美香ちゃん(7歳)
長男 友也くん(5歳)

あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられた事と存じます。我家の人気者シリーズ、今年も張り切ってご紹介していきますので、よろしくお願い致します。

まず、今年最初にご紹介するのは、昨年兄弟で七五三を迎えた林美香ちゃんと友也君です。兄弟で七五三を迎えた記念にと、美香ちゃんには振袖、友也君は羽織袴姿でハイポーズ。「いつもはおてんばの美香も、この日はかりはおしとやかに、まだ赤ちゃんくさい友也も結構様になって、馬子にも衣装ね」と微笑みっぱなしのお母さんの晴美さん。かたやお父さんの勝利さ



この日はおじいちゃんおばあちゃんも目を細めていました

んはというと言ったとか。きつといつか嫁に出す日が来るのかと、複雑な気持ちだったのでしょうか。

今年二年生になる美香ちゃんは、「今年も勉強頑張るの」と元氣一杯。将来は美容師になりたいと夢膨らむお年頃。友也君は、大きくなったら何になるの?と聞くと、「ウルトラマン」と可愛い返事。

ファミコンやラジコンも大好きだけど、やっぱり一番はウルトラマン。凝り性の友也君、この夏家族で海へ行き、ちよっと凝りはじめたのが釣り。「林家は大じいちゃ



今日は何の髪型にしようか



怪獣の名前は全部知ってるよ



兄弟は仲よし、でもたまにはケンカもします

んの代から釣り好きで、四代目の釣りキチになりそう」と晴美さん。また、「元氣一杯のびのびと育ってほしいわ」と二人の子供を優しく見つめていました。

優等賞二席に輝く

「火の国」熊本県で「第九回全日本ホルスタイン共進会」が、十一月二十二日から二十六日までの五日間開かれ、「中標津ホルスタイン」が優等賞を獲得しました。

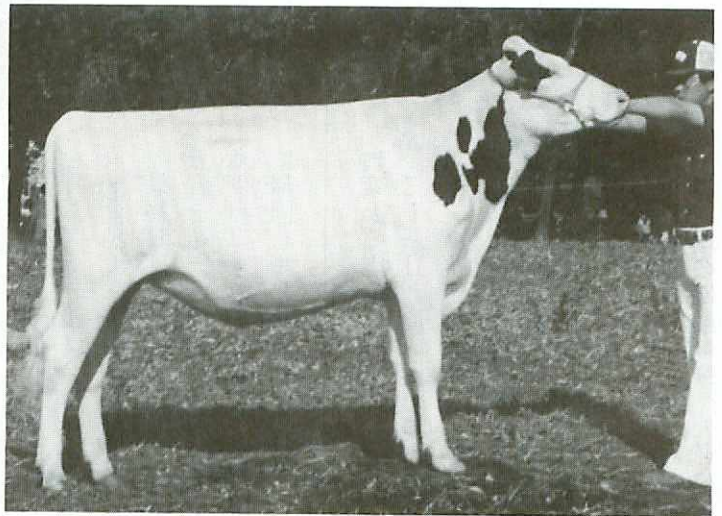
この共進会は、五年に一度開かれるもので、前回の岩手県（六十年開催）に比較して九州という遠隔地でしたが、北海道からは五十頭、根室管内から三頭、そのうち一頭は第二俣落の川村牧場から出品致しました。

会場は熊本市郊外の合志町農業



公園で、周囲は畜産試験場や農業大学など農業関係の施設の多い、丘陵地で非常に環境の良い会場でした。会場内には酪農関係の商社や、農機具、自動車の展示、地場産品の即売会や歌謡ショウなど多催で、北海道の共進会のイメージよりも、農業国カナダの、ローヤルウィンターフエアに近いもので、開期中は連日約二十万人の人数があり、牛を繋養する幕舎の方も大勢の人波で賑いました。

共進会の方は、二十三日の個体審査から二十六日の名誉賞決定まで、日本ホルスタイン登録協会の審査員数名により、優美で機能的な乳牛の序列がつけられました。



優等賞タイディ ホープ クリスチナ号

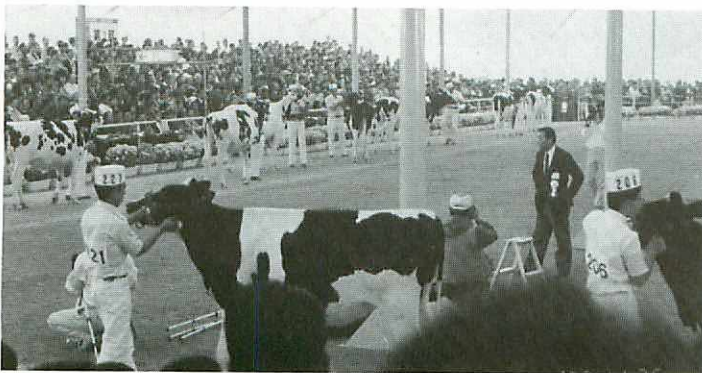
全国共進会 開かる

擬賞は、優等賞、一等賞、二等賞の順で、北海道の一等、二等、三等にかわるものです。またチャンピオンは名誉賞になります。

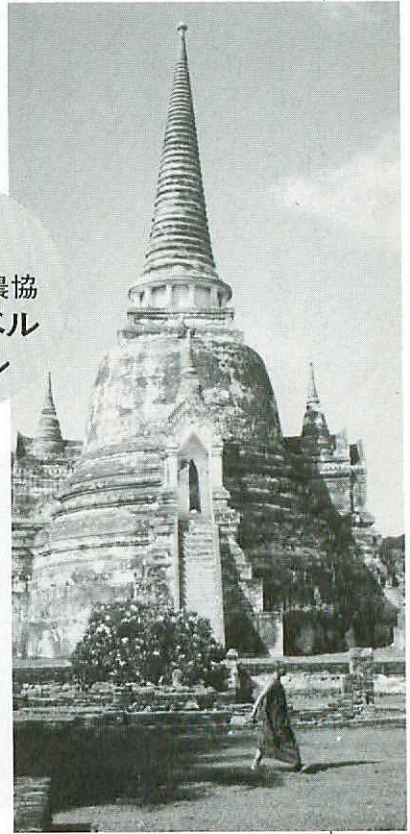
審査の結果、第二部で中標津か

ら出品した川村牧場のタイディ・ホープ・クリスチナ号が見事、優等賞二席に輝きました。根室管内から出品の他の二頭も、それぞれ優等賞と一等賞を獲得し、北海道出品牛は一等賞以上の入賞率一〇〇%の結果でした。

尚、五年後の第十回の全国共進会は、千葉県で開催されることになっております。



管内統一の農協貯金積立海外
研修旅行として行なわれている、
この海外旅行は、今回が二回目、
十一月十二日から十七日の日程
で、シンガポール、バンコク六
日間の旅が実施され、中標津町
農協から八人を含め、標津町、



はばたけば世界が見える

協管内農協
トラベル
プラン
根室翔

上春別の各農協合わせて三十人
が参加しました。

当日は、天皇陛下即位の礼が
行なわれ、厳重な警備、検問の
なかでの出発となりました。

十三日、十四日は、シンガポ
ールで、マライオン公園、植

物園、ジエロ
ンバードパークな

どを観光。植物園では広さ三十二
ヘクタールの敷地に、熱帯植物が
所狭しと植えられ蘭の花が咲き乱
れ、その美しさに皆目を奪われた
様子。十五、十六日は、タイに渡り、

水上マーケット、暁の寺院、黄金
仏寺院などを見学、夕食は、タイ
ダンスを見ながらタイ料理に舌鼓
を打ち、その後はタイの夜芸術シ
ョーを見学し、皆満足した様でした。

最終日はとても暑い日で、三十
五度を超えるなかでの観光となり
多少バテぎみでしたが、全員無事
に帰国しました。



感慨もひとしおでした。

その日の泊りは、勝浦温泉(ホテ
ル浦島)日本有数のホテルで、従
業員がなんと二千人、島全体がホ
テルになっているため、館内案内
図を片手にしながらも迷う始末で
す。

朝食のバイキングは、これまた
大変で、食事をするよりも並んで順

釧路発、東京経由で大阪着、一
路奈良へ。

すっかり日の暮れた奈良市内へ
入ると、あちらこちらに見られる
「鹿飛び出し注意」の看板。北海
道で言う「牛の横断注意」でしょ
うか。

翌日から観光のはじまりですが、
迎えてくれたのは、松本豊治さん

と同郷という、ベテランのバスガ
イドさん。親しみもわき、おかけ
で最後まで楽しい旅を続けられま
した。

奈良公園にはじまり、法隆寺・紀
三井寺(桜の名所)二百数十段の
急な階段も皆元気に昇り降りしま
した。

車窓に見える柿畑が、みかん畑

日本最東端に住む私たちが、本
州最南端の潮岬に立った時には、

番を待つ方が時間がかかってしま
うのです。

二十二日は、那智の滝・那智大
社（四百数十段の階段）・真珠資
料館（この旅行のメインだったか
も知れませんが）・鬼ヶ城・伊勢神
宮を観光しました。

真珠、海女に

うっとり



黒潮おどる南紀・伊勢

味のめぐりの旅

11月19日午前9時、晴天の中、太田俊昌団長をはじめとする総勢
24人は、家族に見送られ元気に中標津を出発。4泊5日の旅の始まり
です。

ホテルでした。

二十三日は真珠島・二見浦です。
皆さんいつも集合時間の十分前
には出発できる状態です。

英虞湾の真珠いかだを目にしな
がら、養殖真珠誕生の
地ミキモト真珠島へ到
着したのはまだ開園前
そこはツーリストの荒
木さんの方の見せどこ
ろ。真珠を見てうっとり
するのは、女性だけ
でしょうか、海女の作
業風景を見て男性もう
っとりされたのでは？

札幌経由で釧路空港へ降り、中
標津着は午後九時、皆様本当にお
疲れさまでした。
何事もなく皆さん無事帰れた事
に感謝します。

でもこの日は、強風
の中での作業、海女さ
んご苦労さまでした。

二見浦の夫婦岩を見
・オ・カ・ラ・カ・エルをなで、
無事カエルをお願いし
ました。ここでは、バ
スガイドさんお勧めの
伊勢名物「赤福」を皆
さん購入。その後、名
古屋空港まで送って
いただき、最後は涙、涙
の別れとなりました。

大嘗祭の伊勢御参拝が近いので、
伊勢市内へ入る時には、厳しい検
問を受けましたが、出る時はすん
なりでした。

最後の夜は賢島、昨夜とはうっ
てかわり、庭園のあるおちついた

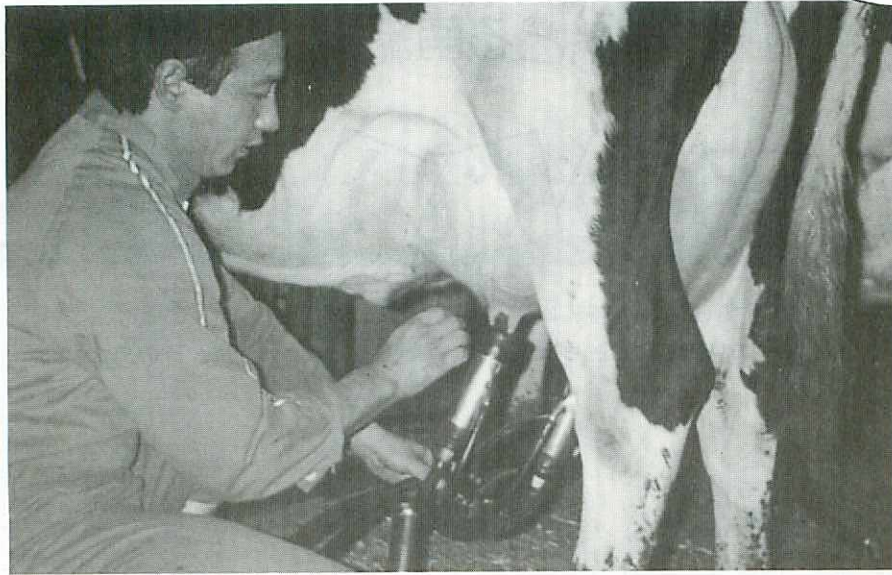
最後の夜は賢島、昨夜とはうっ
てかわり、庭園のあるおちついた



酪農ヘルパー 円滑化事業 が始動

基金14億円積み立て

この酪農ヘルパー円滑化対策事業は、今年三月末の加工原料乳保証価格決定の際の関連対策として、七十億円の基金造成で決まったもの、道段階では北農中央会を中心に事業の具体的内容が検討され、この結果、事業の基になる基金は中央畜産会(国)が七億円、道が三億五千万円、農協の連合会一億七千万円、各農協が一億七千万円を拠出して計十四億円を造成する。事業主体は北農中央会で、「北海道酪農ヘルパー事業運営協議会」を設立して運営していくことで、中央会の理事会も、正式に了承した。



同事業は全国、北海道、ヘルパー利用組合の三段階に分かれ、道段階では要員募集活動、技術向上研

修など円滑な推進に必要な事業を行なう。利用組合段階の事業としては、

「酪農ヘルパー道運動協議会」を設立

①事業の普及、啓発のための推進会議、利用組合活動の調整、②要員の確保を促進するための要員募集、技術向上研修会への参加、③作業中に起きた牛や機械の損害などの補償を促進するための補償促進運営委員会の開催など、④利用組合の事業量の安定、確保のための定期利用調整会議の開催など。従って基金による助成も会議費、酪農ヘルパー活動費、酪農ヘルパー要員募集費などで、人件費等の交付にかかわるものを除いた経費に使われる。助成額は果実の出

来具合にもよるが、今のところヘルパー年間出荷回数、百五十回〜三百回の利用組合に七十六万円、三百一回〜六百回に百四十四万円、六百一回〜九百回に百五十一万円、九百一回〜千二百回に百九十九万円、千二百一回以上に二百二十八万円、前述の補助対象事業費に相当額かまたは、酪農ヘルパー出役回数に対応する金額の範囲内において、毎年度定める金額のいずれか低い額以内として考えている。

道内における酪農ヘルパー円滑化対策事業の推進体制は、北海道の指導監督の下に、関係団体によるヘルパー運営協議会との連携で北農中央会が支所を通して利用組合を指導、支援することになり、更に普及所、市町村、農協とも連携して、事業を推進することとなっています。



理事会

の経過

第十回理事会

開催日時 十二月十七日

開催場所 農協中会議

〈議案〉

- 一、平成三年度の営農計画樹立にあたっての基本姿勢と留意事項について
- 二、農協有バルククーラーの貸付契約について
- 三、各種資金の借入申込みについて
- 四、社団法人、北海道地域農業研究所設立に伴う加入と会費の納入について
- 五、酪農ヘルパー事業円滑化対策事業に係る事業基金の拠出と、(株)ファム・エイに対する外部出資について
- 六、貸付金利率の改定について
- 七、組合員の加入、脱退、譲渡等について
- 八、農協前ホクレン給油所施設の

譲受について

九、資材店舗陳列棚の取替えについて

〈協議事項〉

一、ファクシミリの取り進めについて

二、平成二年度組勸中間協議後の状況について

三、人工授精事業の地区担当者配置換えについて

四、事務所ボイラーの更新について

〈報告事項〉

- 一、生乳の生産状況について
- 二、平成二年度乳質向上対策特別事業奨励金について
- 三、平成二年度澱粉工場の収支見込みについて
- 四、平成二年度ビートパルプの調達状況について
- 五、年末、年始の行事予定について
- 六、職員の退職者について
退職者平成二年十二月三十一日付
畜産販売課長 阿部 明良
金融共済課共済係長 佐藤 政治
営農資材課生産資材係 近藤智恵子
- 七、その他

年始の業務日程のお知らせ

■ 休業

業務名	営業、休業日程						
	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)	7日(月)
一般業務							
貯金・クミカン				午後3時まで			平常業務
A T M				午後3時まで	午後2時まで		
ストアー					平常		
給油所(農協前、桜ヶ丘)				平常			
人工授精				平常(受付午前10時まで)			
乳質検査 (体細胞、抗菌性物質)				平常			

畜産販売関係業務 1月7日 初生トク、血清、集荷。

1月9日 ホクレン家畜市場、初セリ。

飲んで踊って

大成功!!

12月1日



ちよっぴり
早目の

クリスマスパーティー

今月の

フオイト

さてこれから何が
始まるのか?

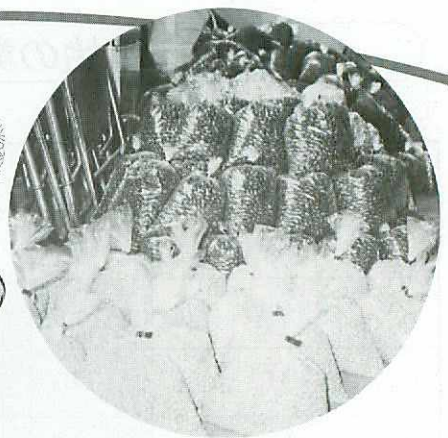


農協青年部後継者対策委員会では、商工会青年部と実行委員会を結成し、旧「来以音」跡を会場に独身者交流パーティーを開催。会場には七十人を超える独身男女でいっぱいとなりました。

生バンドにディスコ、飲んで食べて踊って、ゲームの「ねるとん」では二組のカップルが誕生するなど、終了時間を一時間近くも延長した、大成功のパーティーでした。今回の企画でたくさん女性の知り会えたはず、あとは男性の積極的なアプローチが必要。今後の成りに期待したいものです…?

まめに豆詰め 豆の共同購入

12月14日



毎年恒例となりました、婦人部豆の共同購入を今年も実施致しました。山積みされた豆を大袋から1kg詰めにする作業は、大変な作業ではありましたが、手際良い流れ作業により予定通り午前中は袋詰め、午後からは引き渡しをしました。部員達も良品な豆、そして、価格が安いと喜んでくれ、お手伝い下さった方もニッコリ。皆さんどうもご苦労様でした。



若妻パワー が敢闘

女性年金で老後の
ゆとりを

12月11日

ア ル ム

二十代から六十代の部員三十二人が参加した婦人部ボーリング大会が、ウコウボウルで開催されました。春の一回目に続き、今年二回目の大会です。今回は、五十代から一ゲームに付き五点のハンデをつけましたが、さすが若妻パワー、南依橋の日下恵美子さんが三九四点で優勝。また、ハイゲームは、依中の名越静枝さんの一五四点と皆、敢闘しました。

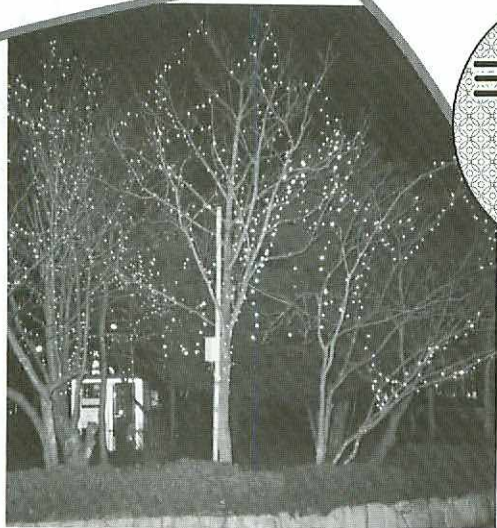
午後からは農協で、女性年金共済の説明会を実施。共済から貯金のお話まで幅広く行なわれました。



ヨーロッパ 農村 環境報告

12月10日

ふるさと創生事業海外視察研修報告会を青年部、婦人部合同で開催。イギリス編を萩原秀雄さん、ドイツ編を横田純子さん、川村露子さんによりスライドを使い、ヨーロッパ農家の歴史の古さと、心の豊かさについて説明されました。



美しい イルミネーションの輝き

青年塾では、東7条公園の木にホワイトイルミネーションを飾る。冬仕度の公園、夜の街並が、ひととき美しく輝いています。



12月の 組合日誌

- 5日 なかしべつフーズ取締役会
- 11日 店舗利用者懇談会
- 13日 第3回管理購買委員会
- 14日 第6回営農委員会
- 17日 第10回理事会
- 26日 役員協議会



実践しましょう冬の交通安全

スリップなどによる交通事故防止
飲酒運転の防止

運転者のみなさん

- スタッドレスなど新しい冬道用タイヤの特性を十分理解し、ゆとりのある安全速度を心がけましょう。
- 冬道における悪条件を想定し、十分な車間距離と安全速度を保ちましょう。
- 吹雪などによる視界不良時には、特に子供や高齢者など歩行者に十分注意を向けましょう。
- 「飲酒運転は絶対にしない」という誓いを新たにし、他の運転者にも飲酒運転防止を働きかけましょう。
- 踏み切り通過時は、必ず一旦停止のうえ安全確認をしましょう。



編集後記

新年あけましておめでとーござい
ます。

平成も三年目を迎え、時代の移りゆく早さに驚きを感じる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしですか。正月は家族揃ってのんびりと、おそをいただき、お節料理にお餅を食べて、といきたいものですが、なかなかそうならないのが現状。年明け早々の新年会、営農計画書の樹立、税金申告の準備など忙しい毎日が続きますね。しかし、何も考えず寝正月でいるよりは、忙しい日々を過ごした方が良いでしょう。人間の脳細胞は、二十歳を過ぎると一日数千万個づつ老化して行くと言われております。この老化を食い止めることはできませんが、新しい事を吸収し、物事を考えることにより新しい細胞が活動するそうです。

目まぐるしく変化する時代に、取り残されぬよう、回らぬ頭をフル回転しようと思っっている私です。